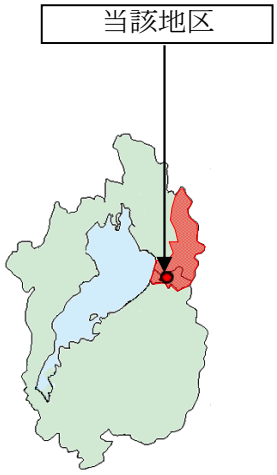
米原駅東口周辺地区（滋賀県米原市）

（都市再生整備計画事業）

１．　地　区　概　要

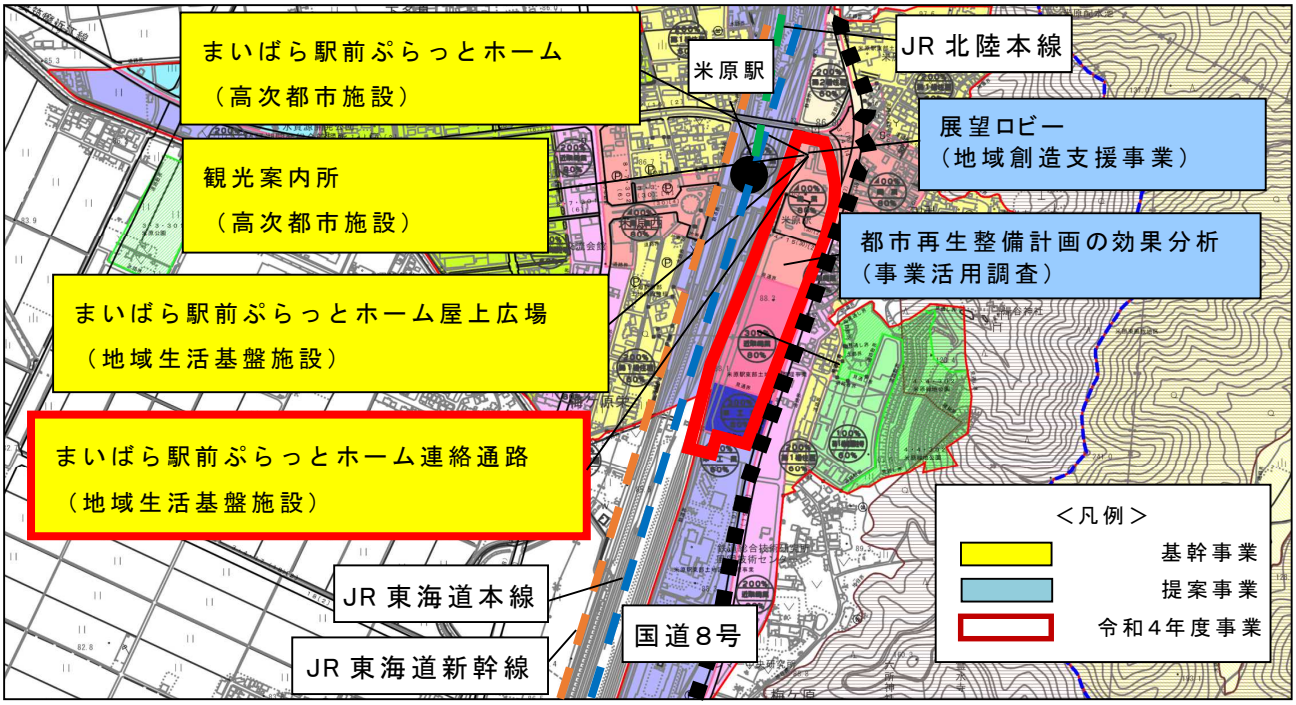
本地区は、新幹線停車駅米原駅の東口の直近部に位置し、米原駅は、近畿圏、中部圏、北陸圏を結ぶ交通の結節点となっている。本地区では、土地区画整理事業が完了したが、滋賀県の玄関口にふさわしい行政・文化機能、商業・業務機能の集積が少なく、まちの核として優れた立地特性を生かした新たな市街地の形成、都市機能の集積、強化が求められており、公民連携による本地区の一体的開発に市民の期待感が高まっている。

このことから、市役所統合庁舎と合わせ「まいばら駅前ぷらっとホーム（コンベンションホール、市民活動スペース等）」の整備を通して、にぎわいを創出するとともに、公民連携による都市機能の集積および新たな都市拠点の形成を推進することとしている。



２．　計　画　内　容

所　　在　　地　：　滋賀県米原市
事　業　主　体　：　米原市
面　　積　：　８．７ha
交　付　期　間　：　令和元年度　～　令和５年度
事　　業　　費　：　全体　1,309.9 百万円
（国費：523.9 百万円）
事　業　内　容　：　まいばら駅前ぷらっとホーム整備
（高次都市施設）　等



別紙5－1

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和2年9月17日

計画の名称	米原駅周辺の都市機能強化			重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和1年度　～　令和5年度　（5年間）	交付対象	米原市		

計画の目標

大目標：多様な交流と連携によるにぎわいと魅力ある都市拠点の創出
目標１：公民連携による都市機能の集積および新たな都市拠点の形成
目標２：地域交流拠点の整備によるにぎわい創出

計画の成果目標（定量的指標）

・駅の乗車数を12209人/日（H28年度）から15100人/日（R5年度）に増加
・地価公示価格を52,200円/㎡（H30年度）から52,200円/㎡（R5年度）に維持
・市民意識調査（広域的な交流機能の整備）の満足度を5.9％（H29年度）から10％（R5年度）に増加
・米原市観光入込客数を1,690,900人/年（H30年度）から1,704,000人/年（R5年度）に増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（当初）	中間目標値	最終目標値（R5末）	備考
米原駅の乗車数（JR在来線＋新幹線）	12,209　人/日	人/日	15,100　人/日	
地価公示価格（米原・1,3,10)の平均	52200　円	円	52200　円	
「満足」「どちらかと言えば満足」の合計割合	6　％	％	10　％	
米原市観光入込客数	1,690,900　人	人	1,704,000　人	

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,310	A	1,310	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D）	0.0%

交付対象事業

A　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村/港湾・地区名	事業実施期間（年度） R1	R2	R3	R4	R5	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
A10-001	都市再生	一般	米原市	直接	米原市	米原駅東口周辺地区都市再生整備計画	高次都市施設等　8.7ha	米原市	■	■	■	■	■	1,310		－	
								合計						1,310.0			

B　関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） R1	R2	R3	R4	R5	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
								合計						0			

C　効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度） R1	R2	R3	R4	R5	全体事業費（百万円）	備考
								合計						0	

D　社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） R1	R2	R3	R4	R5	全体事業費（百万円）	備考
								合計						0	

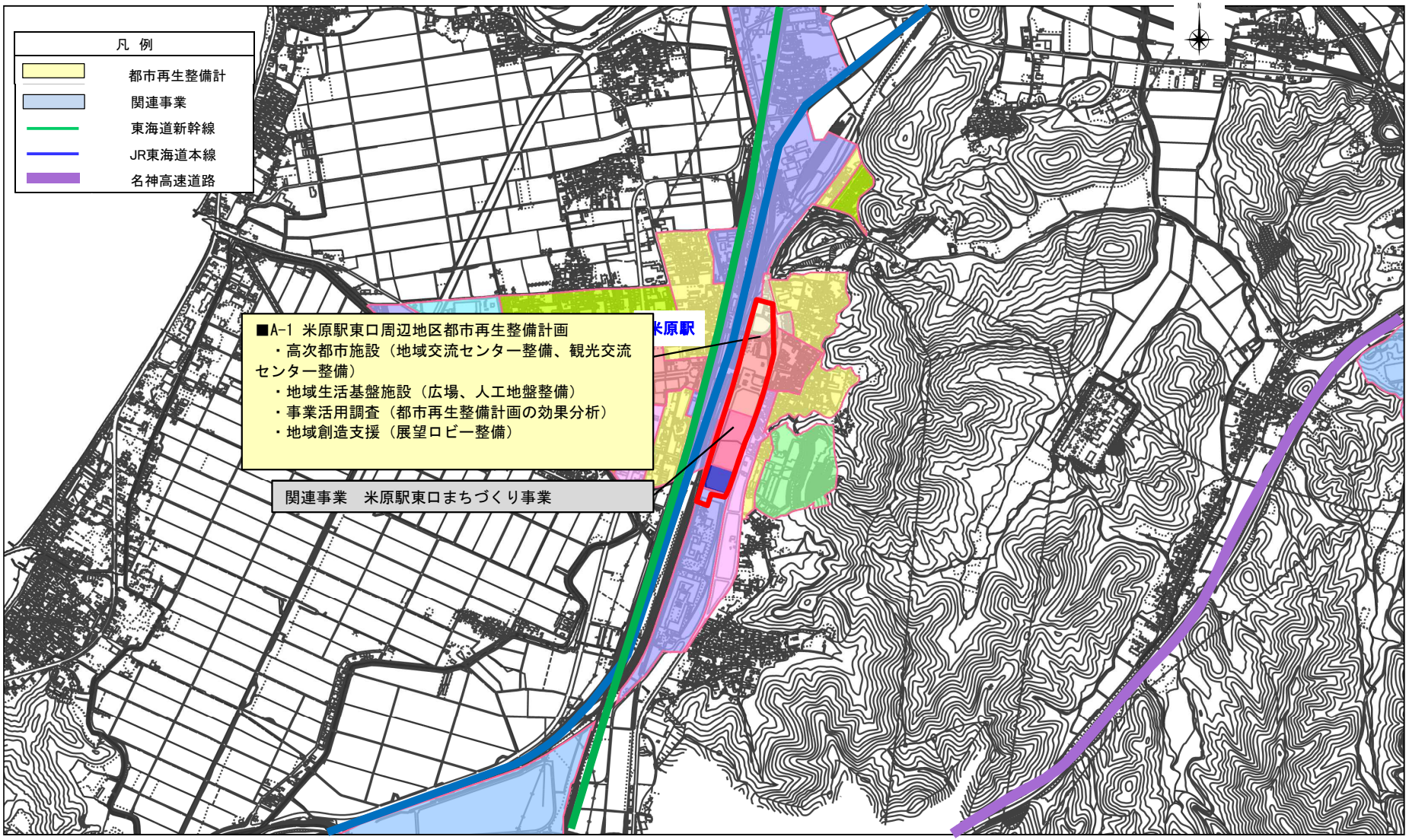
交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R1	R2	R3	R4	R5
配分額 (a)	185	93	110	5	0
計画別流用 増△減額 (b)	123	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	308	93	110	5	0
前年度からの繰越額 (d)	0	208	0	0	0
支払済額 (e)	100	301	110	5	0
翌年度繰越額 (f)	208	0	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (i=(g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画　　参考図面

計画の名称	米原駅周辺の都市機能強化		
計画の期間	令和 1年　～　令和 5年（5年間）	交付団体	米原市



様式（1）-①

都市再生整備計画

米原駅東口周辺地区（第3回変更）

滋賀県　米原市

令和5年1月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	□
都市再生整備計画事業	■
まちなかウォーカブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式（1）-②

都道府県名	滋賀県	市町村名	米原市	地区名	米原駅東口周辺地区	面積	8.7 ha

計画期間	令和 1 年度 ～ 令和 5 年度	交付期間	令和 1 年度 ～ 令和 5 年度

目標

大目標：多様な交流と連携によるにぎわいと魅力ある都市拠点の創出
目標①：公民連携による都市機能の集積および新たな都市拠点の形成
目標②：地域交流拠点と観光案内拠点の整備によるにぎわい創出

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・当地区は、滋賀県唯一の新幹線停車駅「米原駅」を中心として、近畿圏、中部圏、北陸圏を結ぶ交通の結節点となっている。
・米原市内のJR4駅（醒ヶ井駅、近江長岡駅、柏原駅、坂田駅）を地域交通拠点として有効に機能させるため、「米原駅」は地域と地域を結ぶ重要なターミナル駅となっている。
・昭和62年3月の日本国有鉄道分割民営化後の旧国鉄清算事業団用地を平成11年度から平成14年度にかけて購入した。
・この購入した土地を中心に平成12年度に都市計画決定を行った米原駅東部土地区画整理事業において、米原駅東口周辺の再開発を行い、当地区に市有地、県有地をまちづくり事業用地として集積している。
・平成18年度に米原駅東口周辺まちづくりビジョンを策定し、平成20年度には米原駅東口周辺まちづくり事業第1回プロポーザルを募集したが、リーマンショックの影響で「応募なし」の公算が強まり中止した。平成24年には第2回プロポーザルを実施したが、事業者決定には至らず、以降、随時募集に変更したが、平成27年度まで提案等がなく、未利用の状況が続いた。
・平成27年度に「米原駅東口まちづくり構想」の民間提案があり、この構想をもとにまちづくりを進めることを公表した。
・平成28年度に米原駅東口前の市有地に市役所統合庁舎の位置が決定し、その後「米原駅東口周辺まちづくり構想」の具現化を目指す（株）みずほ銀行を中心とする民間事業者により「みずほコンソーシアム」が設立され、進出事業者として市および県に対し公民連携による土地利用の提言があった。
・平成29年度に米原市庁舎等整備基本計画を策定した。交流エリアを含む統合庁舎の整備方針を決定し、米原駅、統合庁舎および民間提案を含めた米原駅東口周辺の一体的開発を進めるため、市と「みずほコンソーシアム」による「米原駅周辺公民連携まちづくり推進協議会」を設置し、まちづくり構想の具現化に向けた協議を実施している。（H29年度8回実施）
・米原駅周辺地域を都市機能の核とし、市内JR駅のネットワークと公共交通システム（乗合タクシー）の導入による、地域と地域を結ぶ「米原版コンパクト+ネットワーク」を進めている。
・平成30年度に「みずほコンソーシアム」メンバーを中心とした「一般社団法人米原駅東口まちづくり協議会」（構成11社）が設立され、法人格をもって、「米原駅東口まちづくり構想」の具現化に向けて米原駅東口周辺まちづくり事業の基本計画の策定が進んでいる。また、米原市統合庁舎整備事業では基本設計が完了している。

課題

・滋賀県唯一の新幹線停車駅である米原駅東口周辺の開発が遅れており、利便性の低さについての市民の不満が多い。
・滋賀県の玄関口にふさわしい行政・文化機能、商業・業務機能の集積が少なく、まちの核として優れた立地特性を生かした新たな市街地の形成、都市機能の集積、強化が求められている。
・米原駅は多くの人に利用されている利便性の高いターミナルでありながら、その大部分が乗換を中心とした利用形態であり、駅周辺の土地利用がほとんどないのが現状である。
・魅力ある地域資源と交通の利便性を生かしたおもてなし観光の推進が必要であり、また、今後も2022年関西ワールドマスターズゲームや2025年の大阪・関西万博の開催に連動し、米原駅の役割や機能は更に増すものと想定され、広域観光の玄関口としての効果を存分する必要がある。

将来ビジョン（中長期）

・第2次米原市総合計画（平成29年度策定）では、「心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり」を基本目標の1つとして掲げ、米原駅東口周辺の市有地等で公民連携による土地利用を推進し、米原駅の機能を生かした都市機能の強化を図り、新たなにぎわいと活力を生み出すまちの核を創るとしている。また、「地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり」を基本目標の1つとして掲げ、地域資源を磨き生かしたおもてなし観光のまちを創るとしている。
・米原市都市計画マスタープラン（平成28年度改定）では、「コンパクト+ネットワークの都市づくり」および「都市拠点の形成、交通ネットワークの強化」を掲げ、都市づくりを進めている。
・まち・ひと・しごと 米原創生総合戦略（平成27年度策定）では、「駅を核として、地域と地域を結ぶステキなまちを創る」を基本目標の1つに掲げ、米原市の核（コア）となるべき米原駅周辺の都市機能強化、米原駅を核とした交通ネットワークの形成を進めている。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
①駅の乗車数	人/日	米原駅の乗車数（JR在来線+新幹線）	駅東口の一体開発および自由通路等の整備により、駅の利便性を向上させ、駅乗車数の増加を図る。	12,209	H28	15,100	R5
②地価公示価格	円	地価公示価格（米原-1、3、10）の平均	駅東口の一体開発により、土地利用の促進を図る。	52,200	H30	52,200	R5
③市民意識調査（広域的な交流機能の整備）の満足度	%	「満足」「どちらかと言えば満足」の割合	地域交流センター、まちづくり広場等の整備により、市民満足度向上を図る。	5.9%	H29	10.0%	R5
④米原市観光入込客数	人/年	観光入込客数（日帰り＋宿泊）	観光交流センターの整備により、観光入込客数の増加を図る。	1,690,900	H30	1,704,000	R5

整備方針等

様式（1）-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針①【公民連携による都市機能の集積および新たな都市拠点の形成】 ・公民連携による当地区の一体的開発に市民の期待感が高まっている。 ・米原駅東口周辺まちづくり事業用地（市有地、県有地）において、湖国のタカラモノを発信する「滋賀の扉・玄関口（ゲートウェイ）」として、様々な人々が交歓・交流するオープンストリート型のまちづくりを進めるとともに、長い時間、滞在できるような魅力ある都市拠点を創出する。	米原駅東口周辺まちづくり事業（関連事業）
整備方針②【地域交流拠点と観光案内拠点の整備によるにぎわい創出】 ・公民連携のまちづくりと連携して、地域交流施設を整備することにより、駅構内から通過していた人を当地区に引き込むとともに、近傍の商業・観光施設等などへのアクセス性を高める役割が期待される。 ・米原駅前（東口）市有地において、市役所統合庁舎と合わせ地域交流施設「まいばら駅前ぷらっとホーム」（コンベンションホール、市民活動スペース、屋上広場等）を整備するとともに、駅東口とまいばら駅前ぷらっとホームを結ぶ自由通路を整備し、駅の利便性を高めるとともに回遊性の高い人の流れを創る。 ・また、交流エリアの整備にあわせ立体駐車場の整備を進め、米原駅を核とした人の流れを創出する。 ・市役所統合庁舎と地域交流施設にあわせ観光案内所を整備することにより、広域観光の玄関口としての効果を発揮する。	まいばら駅前ぷらっとホーム連絡通路（基幹事業/地域生活基盤施設（人工地盤）） まいばら駅前ぷらっとホーム屋上広場（基幹事業/地域生活基盤施設（緑地、広場等）） まいばら駅前ぷらっとホーム（基幹事業/高次都市施設（地域交流センター）） まいばら駅前ぷらっとホーム展望ロビー（提案事業） 観光案内所（基幹事業/高次都市施設（観光交流センター））

その他

【公民連携および市民参加によるまちづくり】
・（株）みずほ銀行を中心とする民間事業者（みずほコンソーシアム）と市、県で構成する「米原駅周辺公民連携まちづくり推進協議会」を設置し、滋賀県立大学の協力を得ながら、米原駅東口周辺まちづくりの整備コンセプトを協議してきた。
・市民、市民活動団体および障がい者関係団体などと市民ワークショップや意見交換会を平成28年度に4回開催し、地域交流センター機能の在り方や駅周辺整備の課題等の意見集約を行った。

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項（都市再生整備計画事業）

様式（1）-④-2

交付対象事業費	1,309.9	交付限度額	523.9	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B／C
道路															
道路															
道路															
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	緑地、広場	まいばら駅前ぷらっとホーム屋上広場	米原市	直	600㎡	R1	R2	R2	R2	8.9	8.9	8.9	0.0	8.9	
	人工地盤等	まいばら駅前ぷらっとホーム連絡通路	米原市	直	183㎡	R2	R4	R2	R4	292.7	292.7	292.7	0.0	292.7	
高質空間形成施設															
高次都市施設	地域交流センター	まいばら駅前ぷらっとホーム	米原市	直	1,269㎡	R1	R2	R1	R2	952.9	952.9	952.9	0.0	952.9	
	観光交流センター	観光案内所	米原市	直	79㎡	R1	R2	R1	R2	36.0	36.0	36.0	0.0	36.0	
	まちおこしセンター														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										1,290.5	1,290.5	1,290.5	0.0	1,290.5	…A

統合したB／Cを記入してくださ

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
地域創造支援事業	展望ロビー	まいばら駅前ぷらっとホーム	米原市	直	41㎡	R1	R2	R1	R2	18.4	18.4	18.4	0.0	18.4	
事業活用調査	都市再生整備計画の効果分析	米原駅東口周辺地区	米原市	直	－	R5	R5	R5	R5	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	
まちづくり活動推進事業															
合計										19.4	19.4	19.4	0.0	19.4	…B
													合計(A+B)	1,309.9	

（参考）都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇） 直轄	補助	地方単独	民間単独	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
合計											0

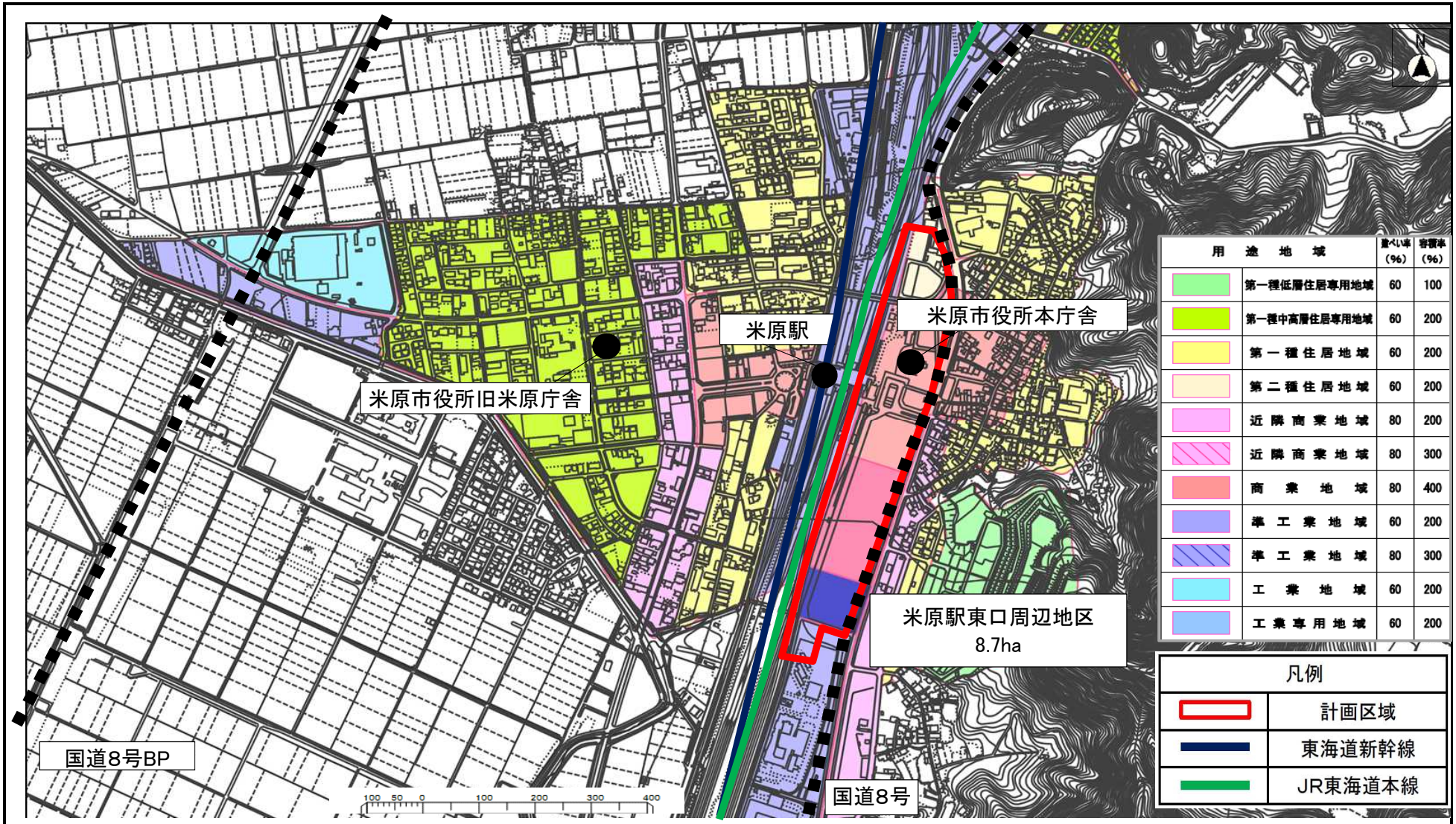
（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇） 直轄	補助	地方単独	民間単独	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
米原駅東口周辺まちづくり事業	米原駅東口周辺地区	民間	－	2.7ha				〇			
合計											0

都市再生整備計画の区域

様式（1）-⑥

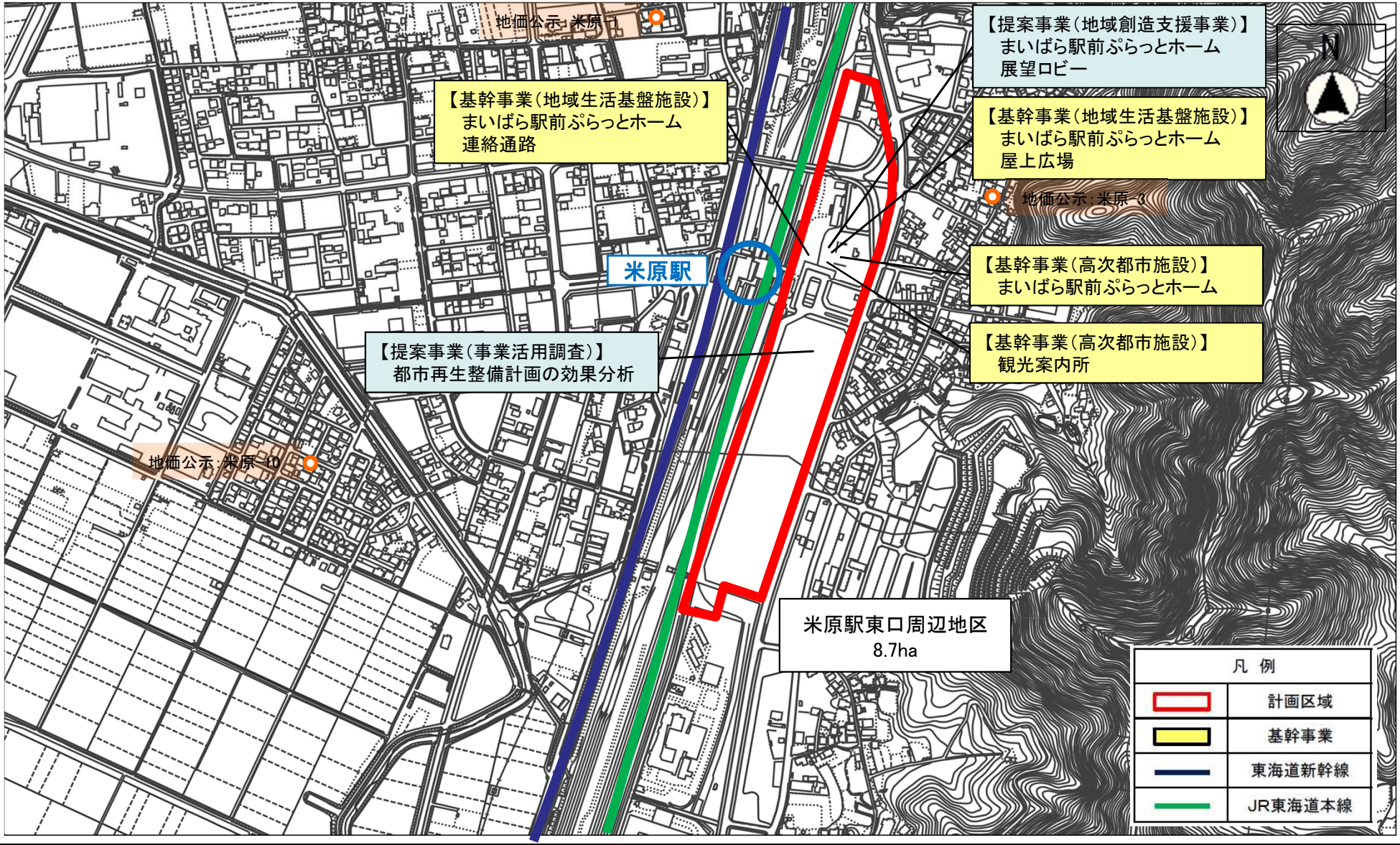
米原駅東口周辺地区（滋賀県米原市）	面積	8.7 ha	区域	米原市米原の一部、梅ヶ原の一部



米原駅東口周辺地区（滋賀県米原市） 整備方針概要図

目標	大目標：多様な交流と連携によるにぎわいと魅力ある都市拠点の創出 目標①：公民連携による都市機能の集積および新たな都市拠点の形成 目標②：地域交流拠点と観光案内拠点の整備によるにぎわい創出

代表的な指標						
駅の乗車数	（人/日）	12,209	（H28年度）	→	15,100	（R5年度）
地価公示価格	（円）	52,200	（H30年度）	→	52,200	（R5年度）
市民意識調査（広域的な交流機能の整備）の満足度	（%）	5.9	（H29年度）	→	10.0	（R5年度）
米原市観光入込客数	（人/年）	1,690,900	（H30年度）	→	1,704,000	（R5年度）

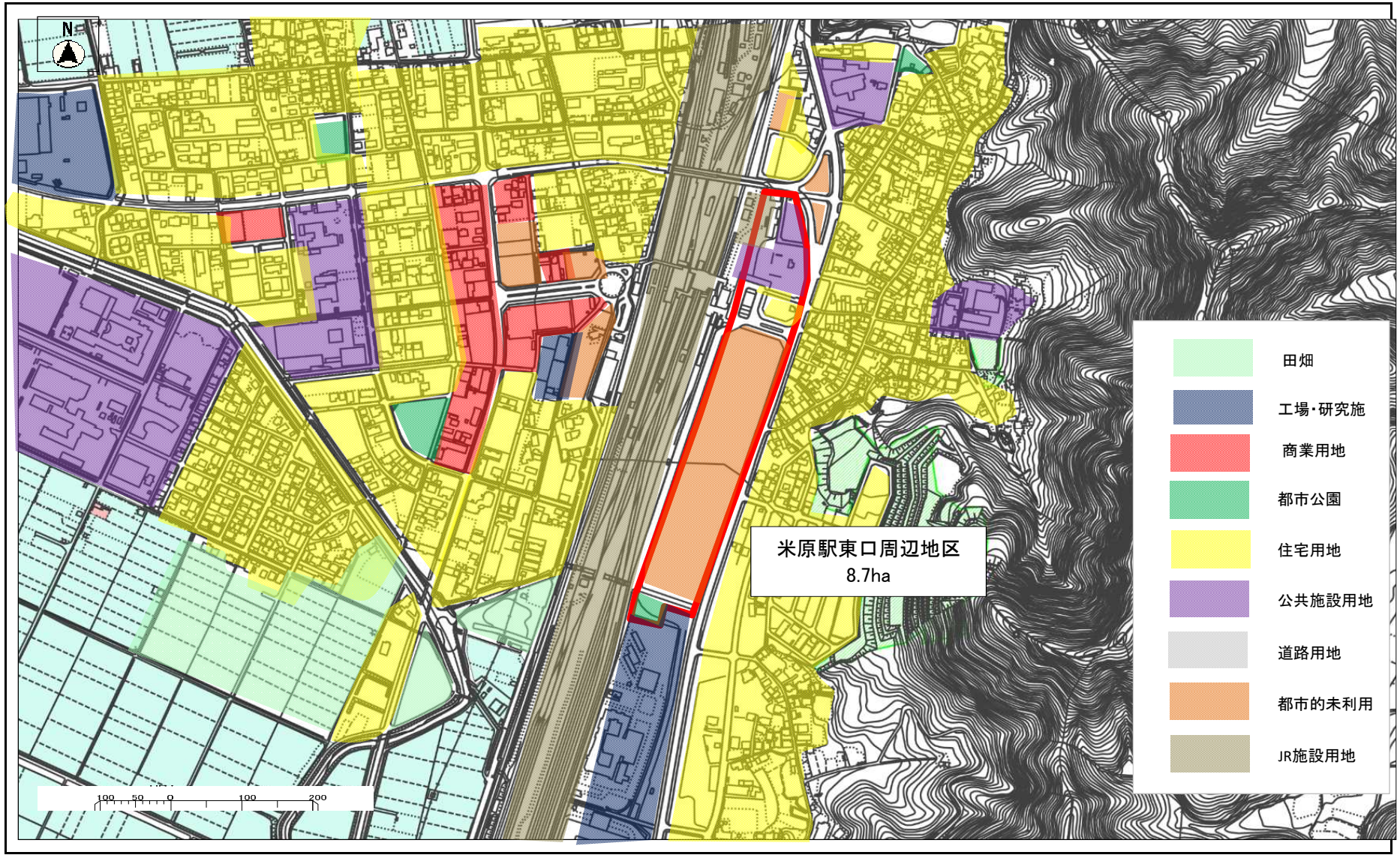


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

米原駅東口周辺地区（滋賀県米原市）

米原駅東口周辺地区(滋賀県米原市) 現況図



交付限度額算定表（その1）

米原駅東口周辺地区 （滋賀県米原市） 様式（2）-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計（X）	523.9	百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額（Y）	3,254.0	百万円	X≦Yゆえ、	本計画における交付限度額	523.90	百万円

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au　43,353 ㎡

公共施設の上限整備水準

区域面積（㎡）			86,706
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
		その他の地域	0.40

Cl　52,200 円/㎡

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	0
公示価格の平均値（円/㎡）	52,200

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度（戸/㎡）	0.000
標準補償費（円/戸）	44,000,000

Cf　23,000 円/㎡

控除額　0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名（事業名）	面積（㎡）	国庫補助事業費等（百万円）
合計	0	0

Ap　20963 ㎡

公共施設の現況整備水準

	整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
	推定現況整備水準(小数第2位まで)	
	推定公共施設面積（㎡）	0
○	個別公共施設の積み上げ	

	面積（㎡）	割合
道路	18,517	0.21
公園	2,446	0.03
広場		–
緑地		–
公共施設合計	20,963	0.24

Cnを考慮しない場合の交付限度額（Y1）	841	百万円

ΣCn　4,825,880,000 円

	下水道	0 円
	区域面積（㎡）	86,706
	うち現況の供用済み区域面積（㎡）	
	標準整備費（円/㎡）	3,600
○	地域交流センター等の公益施設（建築物）	4,062,680,000 円
	上限床面積（㎡）	9,400
	標準整備費（円/㎡）	432,200
	調整池	0 円
	調整池の容積（㎥）	
	標準整備費（円/㎥）	140,000
	河川	0 円
	河川整備延長（m）	
	標準整備費（円/m）	3,700,000

	住宅施設	0 円
	建設予定戸数（戸） 超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費（円/戸）	超高層	一般
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

	市街地再開発事業による施設建築物	0 円
	施設建築物の延べ面積（㎡）	
	標準共同施設整備費（円/㎡）	132,000
	電線共同溝等	0 円
	電線共同溝等延長（m）	
	標準整備費（円/m）	680,000
○	人工地盤	763,200,000 円
	人工地盤の延べ面積（㎡）	144
	標準整備費（円/㎡）	5,300,000
	協議して額を定める大規模構造物等	0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費（円）

Cnを考慮した場合の交付限度額（Y2）	3254	百万円

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額（活用する交付金の欄のみご記載ください。）

＜都市構造再編集中支援事業＞

交付限度額(X1)		百万円

＜都市再生整備計画事業＞

交付限度額(X2)	523.9	百万円

＜まちなかウォーカブル推進事業＞

交付限度額(X3)		百万円

（参考）交付限度額算定表（都市再生整備計画事業（通常））

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定（詳細）

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。（事業費の単位：百万円）

○交付対象事業費（必ず入力）

交付対象事業費	基幹事業合計（A）	1,290.500	A	（事業費）		1）式で求まる額（4/10*(A+B)）	523.960	①（国費）
	提案事業合計（B）	19.400	B	（事業費）	⇒	2）式で求まる額（5/9*A）	716.944	②（国費）
	合計(A+B)	1,309.900		（事業費）		上記①、②の小さい方	523.960	③（国費）
	提案事業割合(B/(A+B))	0.015				国費率（③÷(A+B)）	0.400	④（国費率）

○拡充の有無

以下の拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3）式の適用〔提案事業枠2割拡充〕		（選択）	⇒	3）式で求まる額（5/8*A）	0.000	⑤（国費）

○交付限度額、国費率

交付限度額	523.960	⑥（国費）
国費率	0.400	⑦（国費率）

交付限度額算定表（その2）（都市再生整備計画事業）

様式（2）-④-2

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定（詳細）

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。（事業費の単位：百万円）

○交付対象事業費

交付対象事業費	基幹事業合計（A）	1,290.500	A	（事業費）
	提案事業合計（B）	19.400	B	（事業費）
	合計(A+B)	1,309.900		（事業費）
	提案事業割合(B/(A+B))	0.015		

⇒

1）式で求まる額（4/10*(A+B)）	523.960	①（国費）
2）式で求まる額（5/9*A）	716.944	②（国費）
上記①、②の小さい方	523.960	③（国費）
国費率（③÷(A+B)）	0.400	④（国費率）

○拡充の有無

以下の2つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3）式の適用〔提案事業枠2割拡充〕		（選択）
・4）式の適用〔都市再生緊急整備地域等の国費率45%拡充〕		（選択）

⇒

3）式で求まる額（5/8*A）	0.000	⑤（国費）
3)式の適用後（適用がある場合は3式反映）	523.960	⑥（国費）
3）式適用後の国費率（⑥÷(A+B)）	0.400	⑦（国費率）

○4）式の適用がある場合の事業費等

4）式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

4）式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費（F）		F	（事業費）
	適用対象となる交付対象事業費(A″+B″)	0.000		（事業費）
	適用対象となる基幹事業合計(A″)		A″	（事業費）
	適用対象となる提案事業合計(B″)		B″	（事業費）
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費（H）		H	（事業費）

※都市再生整備計画事業の当初から4）式の適用を受ける場合は、Fの欄を記入せず、A″、B″を記入し、A″=A、B″=B、H=A″+B″=A+Bとなる。

⇒

適用前の国費率※	0.400	⑧（国費率）

※計画認定日の属する年度の年度末における1)式から3)式を適用して算出した交付限度額を交付対象事業費の事業費で除した値

適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑨（国費）
適用後の国費率（⑨÷(A″+B″)）	#DIV/0!	⑩（国費率）
4）式適用後の限度額（⑧×F+⑩×H）	#DIV/0!	⑪（国費）

⇓

交付限度額	523.960	⑫（国費）

○交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B)	1,309.900	（事業費）

交付要綱に基づく交付限度額（⑫を1万円の位を切り捨て）	523.960	⑬（国費）
国費率	0.400	⑭（国費率）

年次計画（都市再生整備計画事業）

様式（2）-⑤-2

（事業費：百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
道路									
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	緑地、広場	まいばら駅前ぷらっとホーム屋上広場	米原市	8.9	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0
	人工地盤等	まいばら駅前ぷらっとホーム連絡通路	米原市	292.7	0.0	8.2	199.3	85.2	0.0
高質空間形成施設									
高次都市施設	地域交流センター	まいばら駅前ぷらっとホーム	米原市	952.9	768.8	184.1	0.0	0.0	0.0
	観光交流センター	観光案内所	米原市	36.0	0.0	36.0	0.0	0.0	0.0
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				1,290.5	768.8	237.2	199.3	85.2	0.0

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
地域創造支援事業	展望ロビー	まいばら駅ぷらっとホーム	米原市	18.4	0.0	18.4	0.0	0.0	0.0
事業活用調査	都市再生整備計画の効果分析	米原駅東口周辺地区	米原市	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
まちづくり活動推進事業									
計				19.4	0.0	18.4	0.0	0.0	1.0
合計				1,309.9	768.8	255.6	199.3	85.2	1.0
累計進捗率（%）					58.7%	78.2%	93.4%	99.9%	100.0%

（参考）都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率（%）				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	全体事業費	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率（%）				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

（単位：百万円）

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費					事業費の主な使途概要	その他
				開始年度	完了年度		うち調査費	うち用地費	うち整備費	うち購入費		
地域創造支援事業	まいばら駅前ぷらっとホーム 展望ロビー整備	米原市		R1	R2	18.4			18.4		まいばら駅前ぷらっとホーム 展望ロビー整備	
事業活用調査	都市再生整備計画の効果分析	米原市		R5	R5	1	1				都市再生整備計画の効果分析（事後評価）	

地域生活基盤施設

単位：百万円

交付対象施設	施設名 （路線名等）	事業主体	概要 （面積、幅員、 延長、規模等）	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								－	
広場	まいばら駅前ぷらっとホーム屋上広場	米原市	面積600㎡	8.9			8.9	－	
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								－	
情報板								－	
地域防災施設	施設種別：								
人工地盤	まいばら駅前ぷらっとホーム連絡通路	米原市	床面積183㎡ W=4m　L=35m	292.7	8.2	4.5	280.0	－	
合計	－	－	－	301.6	8.2	4.5	288.9		

・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。（間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。）
・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式（立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等）、面積及び駐車台数を記入。
・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

高次都市施設

■地域交流センター、観光交流センター、まちおこしセンター、子育て世代活動支援センター、複合交通センター

（単位：百万円）

施設名	事業主体	概要 （床面積、規模等）	交付期間内事業期間		交付期間内事業費					備考 （施設の内容等）
			開始年度	完了年度		うち設計費	うち用地費	うち整備費	うち購入費	
まいばら駅前ぷらっとホーム（地域交流センター）	米原市	地域交流センター 床面積約1269㎡ 立体駐車場100台分 外構一式	R1年度	R2年度	952.9	0.0	0.0	952.9	0.0	まいばら駅前ぷらっとホーム 1Fコンベンションホール 3F市民活動スペース・貸会議室
まいばら駅前ぷらっとホーム（観光案内所）	米原市	観光案内所 床面積79㎡	R1年度	R2年度	36	0	0	36	0	まいばら駅前ぷらっとホーム 3F観光案内所

施設（高次都市施設・誘導施設等）必要性

都道府県	滋賀県	市町村	米原市		
地区名	米原駅東口周辺地区				
施設の名称	まいばら駅前ぷらっとホーム				
事業費（百万円）	952.9	延べ床面積（㎡）	1,268.57		
事業期間	R1～R2				
年度計画(百万円)	R1 ： 768.8 (建設)　R2 ： 184.1 (建設)				
事業の熟度	工事実施中	建設	○	購入	
施設の概要	第2次米原市総合計画では、米原駅東口周辺の市有地等で公民連携による土地利用を推進し、米原駅の機能を生かした都市機能の強化を図り、新たなにぎわいと活力を生み出すまちの核を創るとしている。 米原駅は利便性の高いターミナルでありながら、駅周辺の利用がほとんどないのが現状である。公民連携のまちづくりにあわせ、地域交流施設の整備により、駅構内から通過していた人を地域内に引き込む役割が期待される。 市役所統合庁舎と合わせ地域交流施設としてまいばら駅前ぷらっとホーム（コンベンションホール、市民活動スペース等）を整備し駅周辺の利便性を高めるとともに回遊性の高い人の流れを創る。				
維持管理費（人件費含む）	10,500千円／年				
支援対象	コンベンションホール、貸会議室、市民活動スペース				
ハコモノ要件	○	①維持管理費を算出し国に提出している			
	○	②郊外からの移転 ・ 統廃合 ・ 他施設との合築 ・ 個別施設計画・PRE活用計画への明確な位置付け			
	○	③三位一体改革で税源移譲対象となっていない			
	○	④他省庁の補助制度がない　※他省庁へ補助制度がないことを確認すること。			
		⑤計画・設計段階から民間ノウハウを活用して効率的なサービス提供や施設規模の適正化等を検討するとともに、民間資金等の活用を検討すること。 ※誘導施設のみ			

必要性等

滋賀県唯一の新幹線停車駅である米原駅東口周辺の開発が遅れており、利便性の低さについての市民の不満が多い。
米原駅は多くの人に利用されている利便性の高いターミナルでありながら、その大部分が乗換を中心とした利用形態であり、駅周辺の利用がほとんどないのが現状である。公民連携のまちづくりにあわせ、地域交流施設の整備により、駅構内から通過していた人を地域内に引き込むとともに、近傍の商業・観光施設等などへのアクセス性を高める役割が期待される。
米原駅周辺にはコンベンションホールはなく、また、公民館等と機能的な差別化と相互利用を図るため、多目的ホール、講演会、各種会議、展示会場等、多様な用途に利用できる空間を構築する。
まいばら駅前ぷらっとホームは、隣接する「米原駅東口周辺まちづくりプロジェクト」と公民連携により人を引き込み、都市の活気が周辺地域に広がっていくことで、都市間競争に対応できる自立性を有した地域づくりの拠点となる施設を目指す。

利用見込み

コンベンションホール300人／日×利用率80%×稼働率60%×365日＝52,560人≒52,500人
会議室145人／日×利用率80%×稼働率40%×365日＝16,936人≒16,900人
市民活動スペース81人／日×利用率80%×稼働率65%＝15,373人≒15,300人

年間　84,700人	

施設（高次都市施設・誘導施設等）必要性

都道府県	滋賀県	市町村	米原市		
地区名	米原駅東口周辺地区				
施設の名称	観光案内所				
事業費（百万円）	36.0	延べ床面積（㎡）	79		
事業期間	R2年度				
年度計画(百万円)	R2年度 ： 36(建設)				
事業の熟度	実施設計済み	建設	○	購入	
施設の概要	第２次米原市総合計画では、米原駅東口周辺の市有地等で公民連携による土地利用を推進し、米原駅の機能を生かした都市機能の強化を図り、新たなにぎわいと活力を生み出すまちの核を創るとしている。 ゴールデンスポーツイヤーズが幕を開け、WMG2021関西、国民スポーツ大会(滋賀国体)の開催や 北陸新幹線の敦賀開業など、米原駅の役割は今後更に増す。国内外を問わず増加が見込まれる観光旅行者を広く呼び込む必要がある。 市役所統合庁舎、地域交流施設とあわせ、観光案内所を整備し駅周辺の利便性を高めるとともに地域の観光情報の提供を行う施設とする。				
維持管理費（人件費含む）	640千円/年				
支援対象	観光案内所				
ハコモノ要件	○	①維持管理費を算出し国に提出している			
	○	②郊外からの移転 ・ 統廃合 ・ 他施設との合築 ・ 個別施設計画・PRE活用計画への明確な位置付け			
	○	③三位一体改革で税源移譲対象となっていない			
	○	④他省庁の補助制度がない ※他省庁へ補助制度がないことを確認すること。			
		⑤計画・設計段階から民間ノウハウを活用して効率的なサービス提供や施設規模の適正化等を検討するとともに、民間資金等の活用を検討すること。 ※誘導施設のみ			

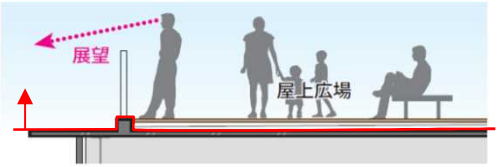
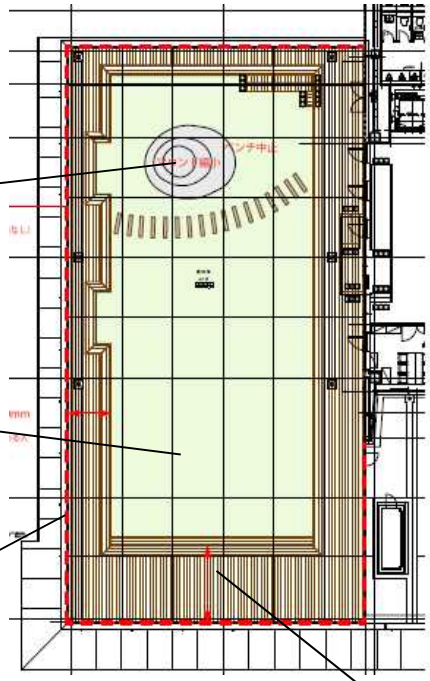
必要性等

滋賀県唯一の新幹線停車駅である米原駅東口周辺の開発が遅れており、利便性の低さについての市民の不満が多い。
米原駅は多くの人に利用されている利便性の高いターミナルでありながら、その大部分が乗換を中心とした利用形態であり、駅周辺の利用がほとんどないのが現状である。公民連携のまちづくりや地域交流施設の整備にあわせ、観光案内所の整備により、駅構内から通過していた人を地域内に引き込むとともに、、湖北･湖東･湖西地域への新たな人の流れをつくる、広域観光推進のための拠点として活用していくことが期待される。

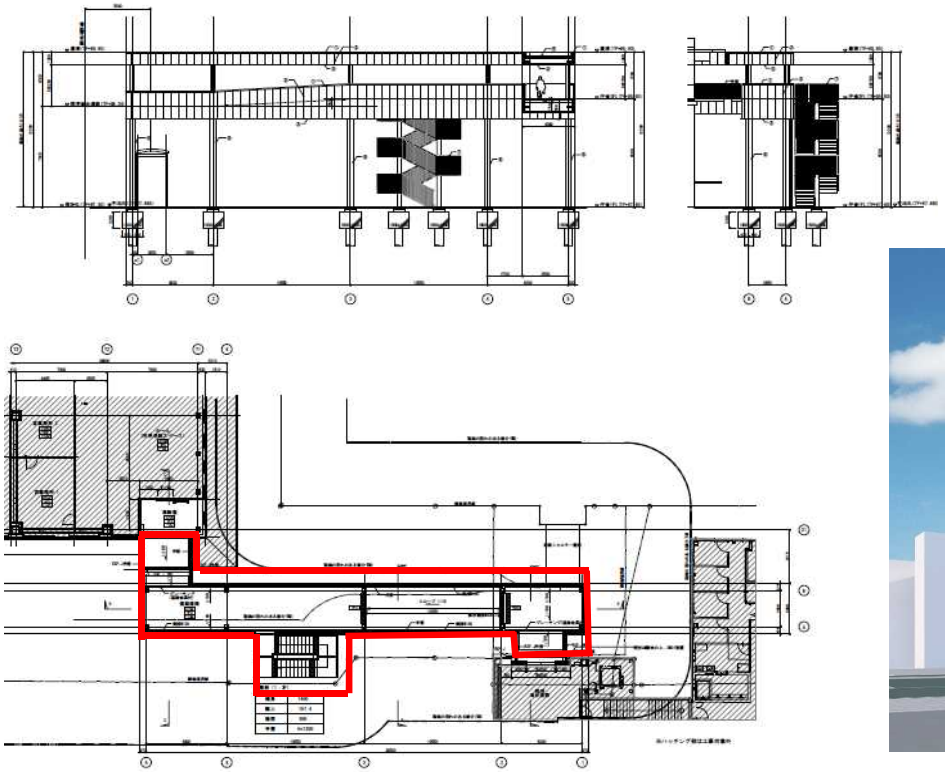
利用見込み

米原駅利用者　在来線5,342人/日×立寄率3%×365日＝58,494人≒58,400人
米原駅利用者　新幹線7,056人/日×立寄率1%×365日＝25,754人≒25,700人
コンベンションホール来場者　52,500人/年×立寄率5%＝2,625人≒2,600人

年間　86,700人	

事業	地域生活基盤施設
施設名	まいばら駅前ぷらっとホーム屋上広場
事業箇所	米原駅東口
概要 （箇所数、規模等）	A=600㎡
イメージ	 

事業金額（参考）	まいばら駅前ぷらっとホーム屋上広場	8.9	（百万円）
	備考		

事業	地域生活基盤施設
施設名	まいばら駅前ぷらっとホーム連絡通路
事業箇所	米原駅東口
概要 (箇所数、規模等)	A=183㎡
イメージ	

事業金額(参考)	まいばら駅前ぷらっとホーム連絡通路	292.7	(百万円)
	備考		

事業	高次都市施設
施設名	まいばら駅前ぷらっとホーム
事業箇所	米原駅東口
概要 (箇所数、規模等)	A=1,268.57㎡、庁舎併設

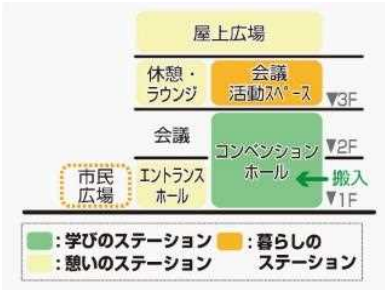
イメージ

全体イメージ

平面配置

コンベンションホール

市民活動スペース



立面配置

事業金額(参考)	まいばら駅前ぷらっとホーム	952.9	(百万円)
	備考		

まいばら駅前ぷらっとホーム　参考資料（事業費按分）

交流エリア面積　　単位：㎡

	まいばら駅前ぷらっとホーム	観光案内所	共有スペース	展望ロビー	庁舎	計	備考
1F	507.06		389.43		1,258.52	2,155.01	庁舎入力誤り増
2F	95.79		316.48		1,463.75	1,876.02	倉庫:ホーム⇒庁舎 給湯:ホーム⇒共用
3F	665.72	79.21	311.82		1,240.52	2,297.27	階段:ホーム⇒共用
4F	0.00		218.21		1,167.28	1,385.49	階段:ホーム⇒廃止 打合コーナー(庁舎)⇒ EVホール(共用)
5F	0.00		186.33	40.53	1,158.51	1,385.37	
計	1,268.57	79.21	1,422.27	40.53	6,288.58	9,099.16	
	①	②	③	④	⑤	⑥	

①+②+④+⑤＝　7,676.89
⑦

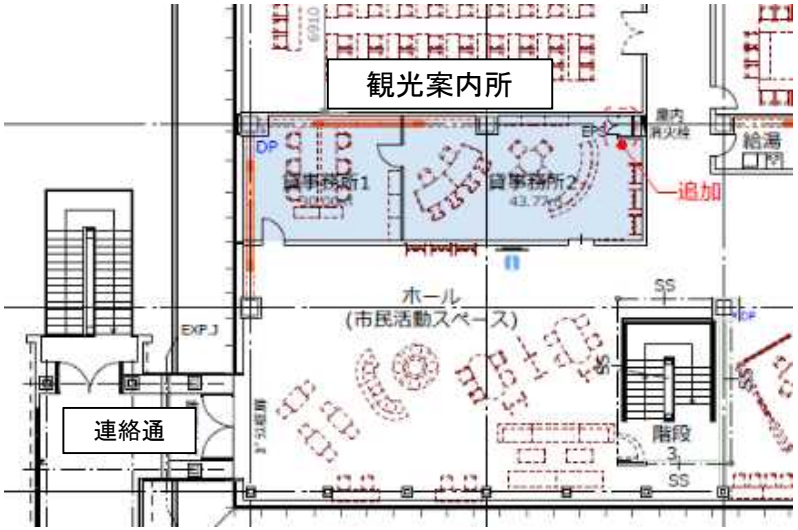
	まいばら駅前ぷらっとホーム	観光案内所	共有スペース	展望ロビー	庁舎	計
外構面積	0.00	0.00	3,417.65	0.00	927.35	4,345.00
			⑧		⑨	⑩

単位：台

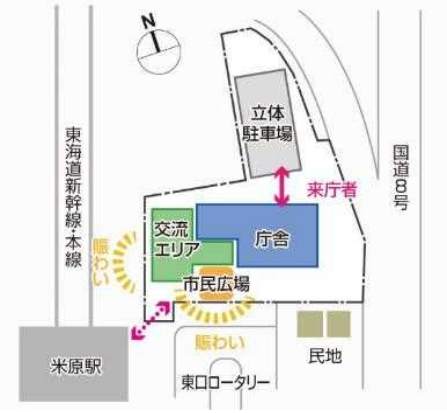
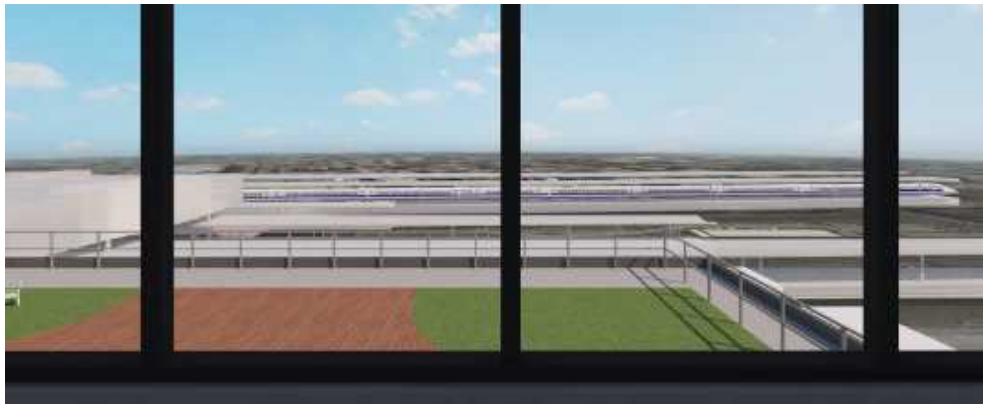
	まいばら駅前ぷらっとホーム	観光案内所	庁舎	展望ロビー	計
立体駐車場駐車台数	100	0	80	0	180
	⑪		⑫		⑬

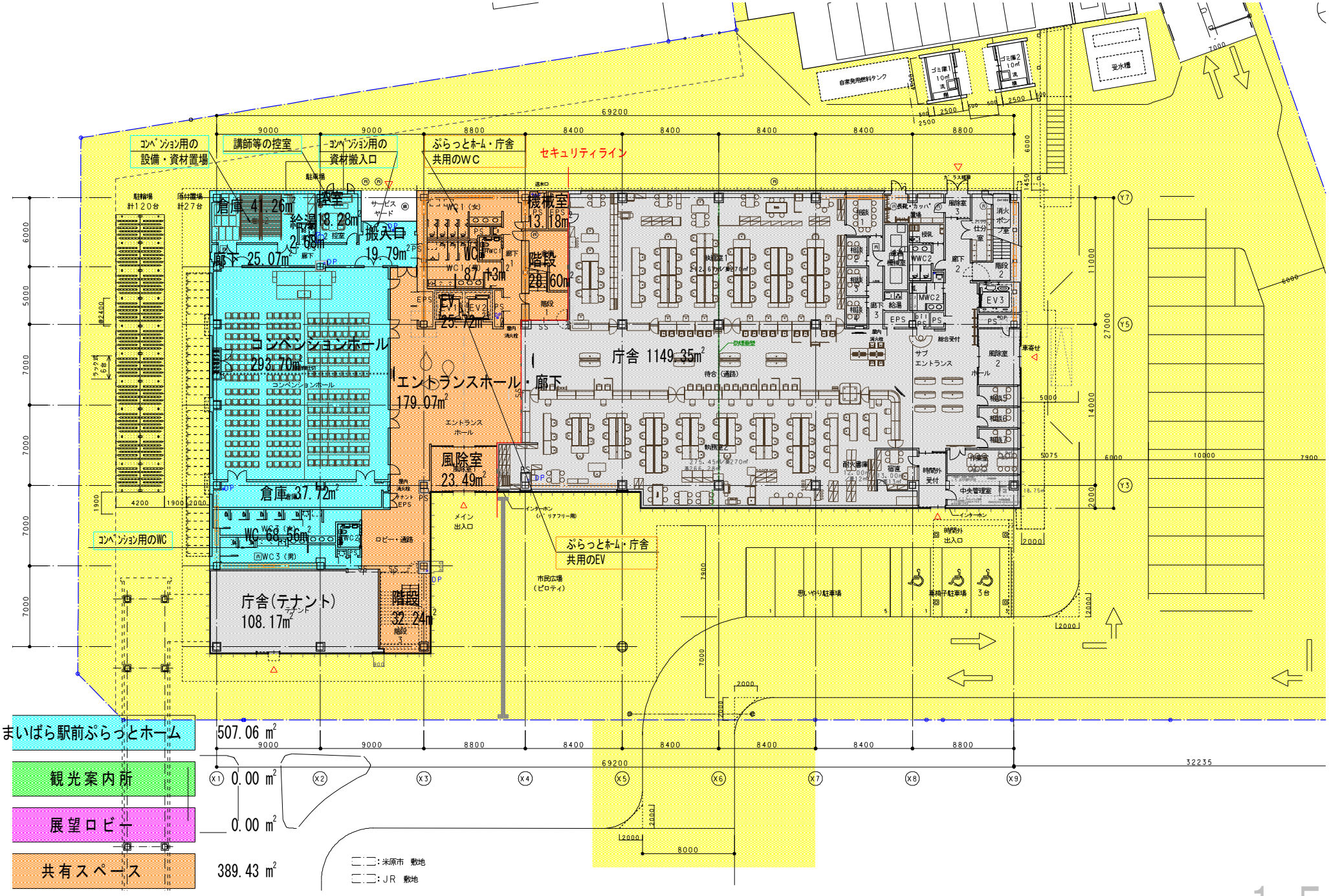
事業費按分　　単位：千円

	A事業費	Bまいばら駅前ぷらっとホーム	展望ロビー	Z観光案内所	C庁舎	
庁舎・まいばら駅前ぷらっとホーム	3,645,488	602,300	18,400	36,000	2,988,788	B=A*(①+③*①/⑦)/⑥
立体駐車場	586,729	325,900	0	0	260,829	B=A*⑪/⑬
外構	187,450	24,700	0	0	162,750	
計		952,900	18,400	36,000	3,412,367	

事業	高次都市施設
施設名	観光案内所
事業箇所	米原駅東口
概要 (箇所数、規模等)	A=79.21㎡、庁舎併設
イメージ	 全体イメージ 平面配置図  ↓米原駅

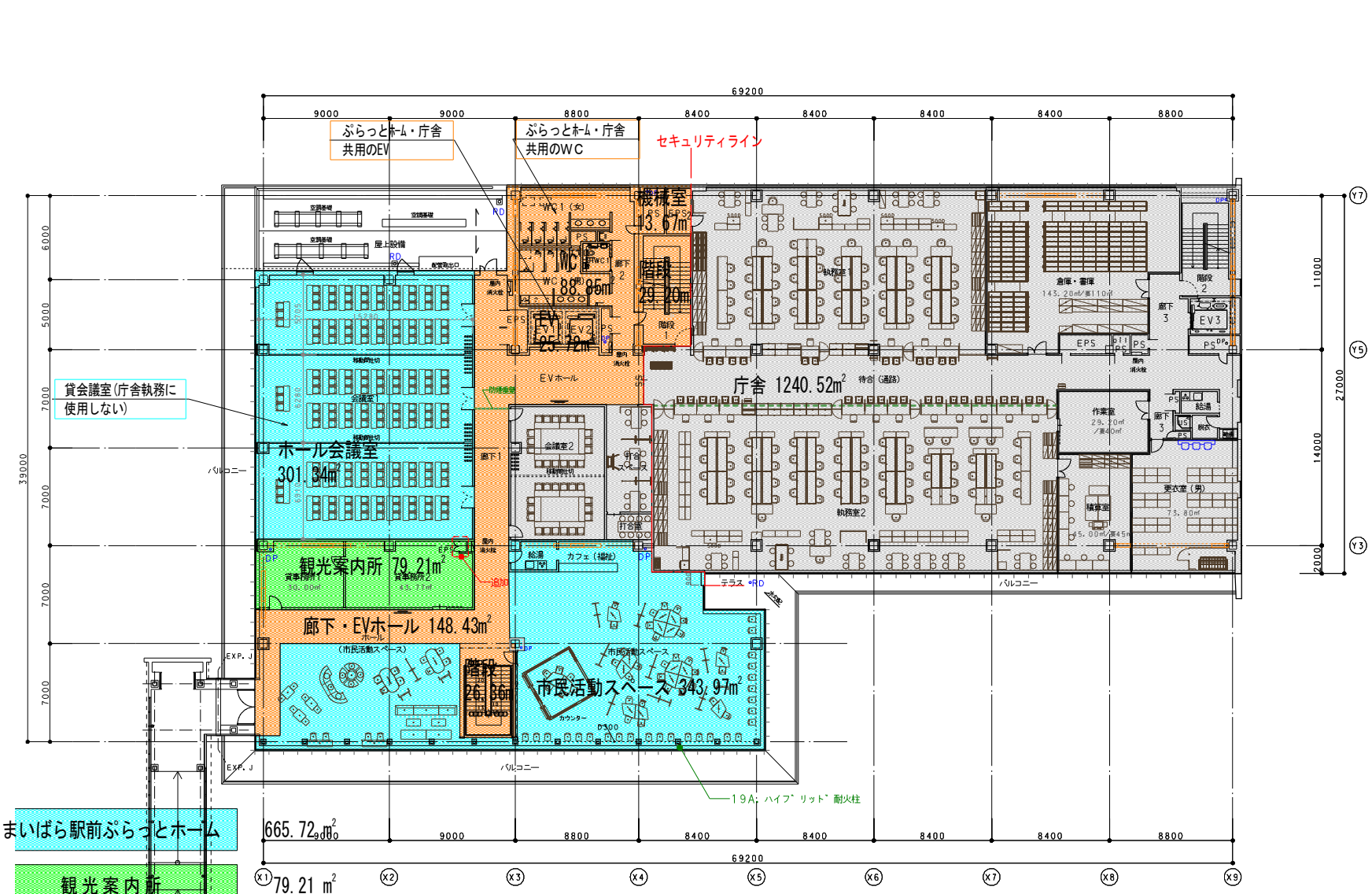
事業金額(参考)	観光案内所	36.0	(百万円)
	備考		

事業	提案事業（地域創造支援事業）
施設名	まいばら駅前ぷらっとホーム　展望ロビー
事業箇所	米原駅東口
概要 （箇所数、規模等）	A=40.53㎡、庁舎併設
イメージ	 全体イメージ  平面配置 展望イメージ 
事業金額（参考）	展望ロビー　18.4（百万円）
	備考

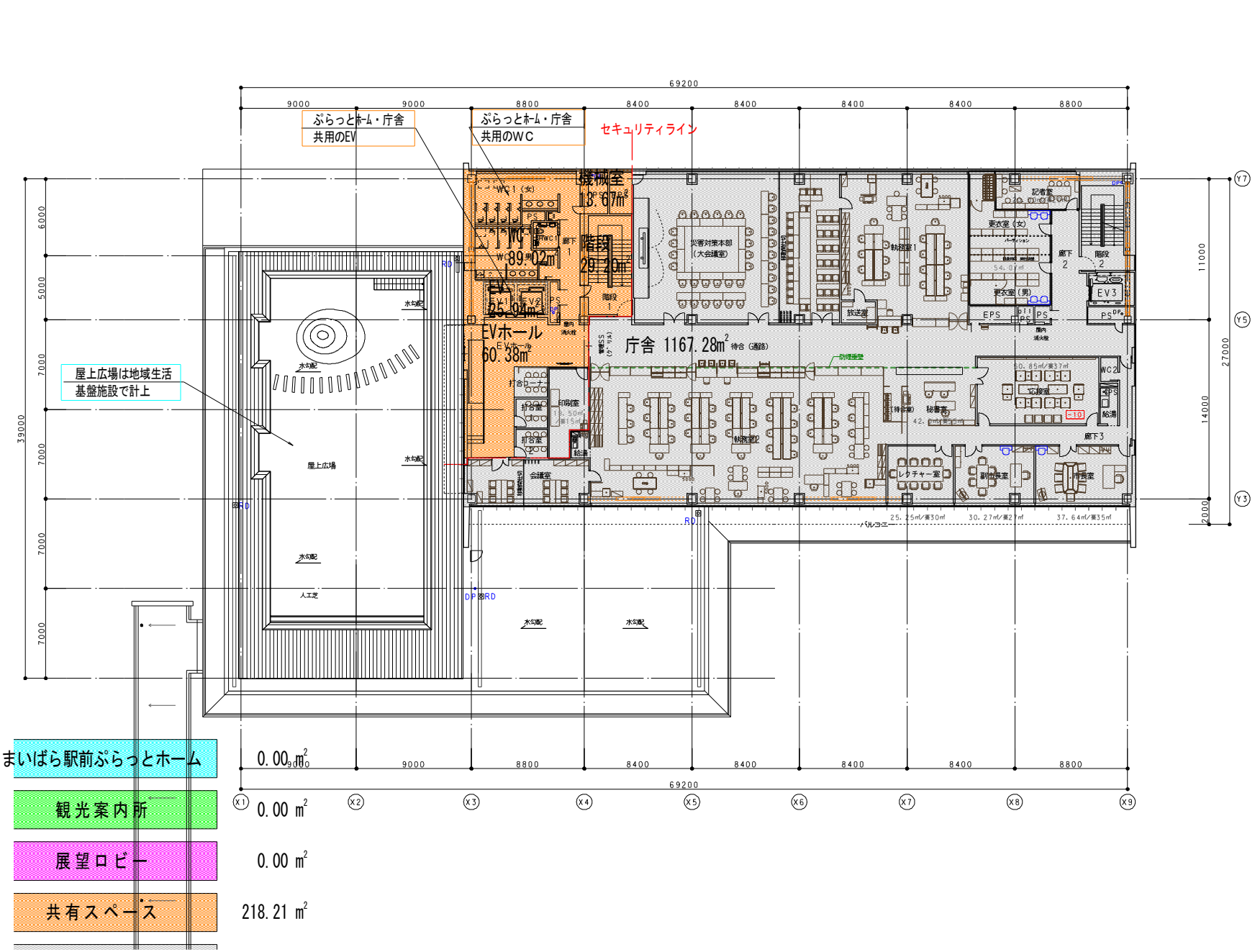

コンベンション用の設備・資材置場
講師等の控室
コンベンション用の資材搬入口
ぷらっとホーム・庁舎共用のWC
セキュリティライン
倉庫 41.26㎡
給湯 18.28㎡
搬入口 19.79㎡
廊下 25.07㎡
WC 87.13㎡
機械室 13.18㎡
階段 28.60㎡
EV 25.72㎡
コンベンションホール 293.70㎡
エントランスホール・廊下 179.07㎡
庁舎 1149.35㎡
風除室 23.49㎡
倉庫 37.72㎡
WC 68.56㎡
庁舎(テナント) 108.17㎡
階段 32.24㎡
コンベンション用のWC
ぷらっとホーム・庁舎共用のEV
自家発用燃料タンク
ゴミ庫1 10㎥
ゴミ庫2 10㎥
受水槽
思いやり駐車場
車椅子駐車場
まいばら駅前ぷらっとホーム 507.06 ㎡
観光案内所 0.00 ㎡
展望ロビー 0.00 ㎡
共有スペース 389.43 ㎡
:米原市 敷地
:JR 敷地
1 F

ぷらっとホーム・庁舎
共用の給湯
ぷらっとホーム・庁舎
共用のWC
セキュリティライン
コンベンション用機械室
機械室
60.99m²
倉庫
43.56m²
給湯
機械室
13.18m²
WC
186.87m²
階段
29.69m²
EV
25.72m²
廊下・EVホール
113.40m²
庁舎 1233.30m²
コンベンションホール吹抜
(移動可仕切)
手摺
機械室・調光調整 34.80m²
庁舎(貸事務所)
186.89m²
階段
36.37m²
ぷらっとホーム・庁舎
共用のEV
駐車場屋根
バルコニー
69200
39000
27000
まいばら駅前ぷらっとホーム
95.79m²
観光案内所
0.00 m²
展望ロビー
0.00 m²
共有スペース
316.48 m²

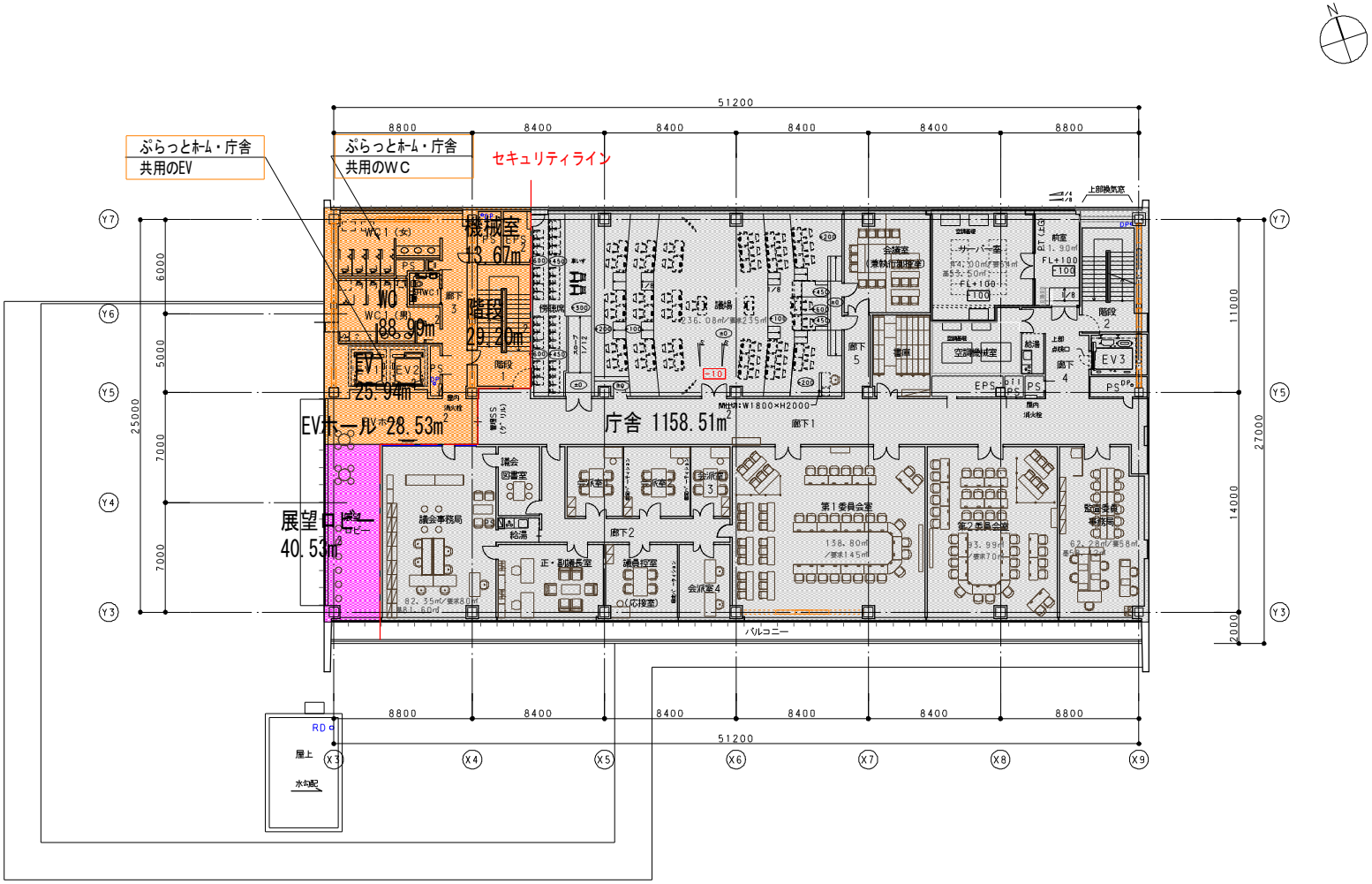
2 F



まいばら駅前ぷらっとホーム	665.72㎡
観光案内所	79.21 ㎡
展望ロビー	0.00 ㎡
共有スペース	311.82 ㎡


ぷらっとホーム・庁舎
共用のEV
ぷらっとホーム・庁舎
共用のWC
セキュリティライン
機械室
13.67㎡
WC
89.02㎡
階段
29.20㎡
EV
25.94㎡
EVホール
60.38㎡
庁舎 1167.28㎡
屋上広場は地域生活
基盤施設で計上
屋上広場
まいばら駅前ぷらっとホーム
0.00 ㎡
観光案内所
0.00 ㎡
展望ロビー
0.00 ㎡
共有スペース
218.21 ㎡

4 F



まいばら駅前ぷらっとホーム	0.00 ㎡
観光案内所	0.00 ㎡
展望ロビー	40.53 ㎡
共有スペース	186.33 ㎡